梅檀

双葉南小学校だより
発行日2011，1,25
№　２５
発行責任者　末永幸弘

給食週間にちなんで

1月24日から一週間は給食週間になっています。『戦後、学校給食は昭和22年1月に全国の都市部の小学校を中心に開始されました。当時の日本は、戦後の食糧難のため学校給食用物資を海外援助事業として送られた「ララ物資」で賄っていました。昭和21年12月24日に、総司令部、ララ委員会、日本政府等の関係者が東京都の永田町小学校に参列し、物資の贈呈式を行いました。文部省（現在の文部科学省）では、この日を学校給食記念日として各種の事業を実施しましたが、昭和25年から「全国学校給食週間」と改め、期間を1月24日から1月30日までの一週間としました。その後、今日まで学校給食に対する感謝と将来の発展を期するための行事が全国で行われています。』

給食週間にちなみ、本校でもいくつかの取り組みを行っています。

昨日の給食の献立は、「セルフおにぎり、梅干、鮭の塩焼き等」これは、日本で最初に給食を出したと言われる【明治22年(山形県鶴岡町（現鶴岡市）の私立忠愛小学校】献立にちなんだメニューです。家が貧しくて、お弁当を持ってこられない子供がたくさんいたので、この小学校を建てたお坊さんが、おにぎり・焼き魚・漬け物といった昼食を出し、子ども達は大喜びで食べたそうです。

また、給食週間にちなんで、「給食標語」の募集もしています。更に普段お世話になっている調理員の方への感謝の手紙も渡しました。

感謝の手紙

五年　志賀伶美香

いつもおいしい給食を作ってくださり、ありがとうございます。私はいつも、給食調理員さんが作ってくれる給食をおいしく食べています。その中で私が一番好きなのは味噌汁です。

南小学校全員の給食を作るのは大変だと思いますががんばってください。

五年　富澤　政輝

いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。給食をいつも楽しみにまってます。今年から中学校で給食を作ることになるので、とてもさびしいです。ぼくは、二年生のころに、給食当番で給食の皿をわった時もやさしく声をかけてくれたこと今でもわすれません。とてもうれしかったです。今年から中学校に行ってしまうので温かい味噌汁が飲めなくなってしまうのでとても残念です。中学校へ行ってもおいしい給食を作ってください。

六年　鵜沼　修也

毎日おいしい給食を作って下さってありがとうございます。ぼくは、一年生の時から給食に出る野菜が苦手で残してしまう時がありました。その時は給食に野菜がでなければいいなと思いました。ぼくが野菜を食べられるようになったのは、四年生の時です。それは、保健の先生に食の大切さを教えてもらい、進んで食べるように努力したからです。今はおいしく野菜を食べられるようになりました。

世界の中で日本が一番残飯が多い国だと聞いています。日本は、食べ物がたくさんあるから困らないけれど、外国には、パン一枚もたべられない人がいるので、給食を残さないで毎日食べようと思います。ぼくの好きなメニューは、あげパンと野菜スープとキムチ和え、魚のホイル焼きです。これからもおいしい給食を作って下さい。よろしくお願いします。

おいしさや楽しさを記憶に残しましょう

六年　小野田安紗

いつもおいしい給食を作ってくださってありがとうございます。六年二組は、残り物を出さないように心がけています。給食のおばさんが朝早くから大勢の分の給食を汗をかきながら作ってくれるのだから、残したらバチが当たってしまうと思います。お腹がすくと、今日の給食は何かな？おいしそう！と給食がないとたおれそうなほど楽しみにしています。

六年生はあと二ヶ月ぐらいしか小学校の給食を食べることができないので、残さず楽しく食べようと思います。これからもよろしくお願いします。

学校では、食育を進めていますが、その目標は、次の三つです。

1　自ら望ましい食生活を実践していく力**『食べる力』**を育むこと
2　食を通し、自然や人々とのかかわりの中で**『感謝の心』**を育むこと
3　福島・双葉の気候・風土に根ざした食文化を理解し**『郷土愛』**を育むこと

鼓笛引継ぎへ

鼓笛隊の引継ぎが来月行われます。新しいメンバーが決まり、昼休みや放課後、六年生が下級生へ指導する微笑ましい姿が見られます。

明日から三日間五年生が宿泊活動に蔵王自然の家に出かけます。元気に楽しくスキーをしてきてください。尚、それに伴いあすから弁当になりますのでよろしくお願いします。